



## ポリシーを使用したスマートライセンシングの機能の履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

表 1: ポリシーを使用したスマートライセンシングの機能の履歴

機能名	リリース	機能情報
ポリシーを使用したスマートライセンス	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	<p>スマートライセンシングの拡張バージョンには、ネットワークの運用を中断させないライセンスソリューションを提供するという主目的がありますが、むしろ、購入および使用しているハードウェアおよびソフトウェアライセンスを考慮して、コンプライアンス関係を実現するライセンスソリューションを提供するという目的もあります。</p> <p>このリリース以降、ポリシーを使用したスマートライセンスがデバイスで自動的に有効になります。これは、このリリースにアップグレードする場合にも当てはまります。</p> <p>デフォルトでは、CSSM のスマートアカウントとバーチャルアカウントは、ポリシーを使用したスマートライセンスで有効になっています。</p>

機能名	リリース	機能情報
Smart Licensing Using Policy への Cisco DNA Center のサポート	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	<p>Cisco DNA Center は、Cisco DNA Center リリース 2.2.2 以降、Smart Licensing Using Policy 機能をサポートしています。</p> <p>Cisco DNA Center を使用して製品インスタンスを管理する場合、Cisco DNA Center は CSSM に接続し、CSSM とのすべての通信のインターフェイスとなります。</p> <p>互換性のあるコントローラと製品インスタンスのバージョンについては、「<a href="#">コントローラのサポート情報：Cisco DNA Center</a>」を参照してください。</p> <p>このトポロジについては、<a href="#">コントローラとしての Cisco DNA Center とコントローラとしての Cisco DNA Center の使用</a>を参照してください。</p>
Smart Licensing Using Policy の場合の Smart Software Manager オンプレミス (SSM オンプレミス) サポート	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.3	<p>SSM オンプレミスは、CSSM と連動するアセットマネージャです。これにより、CSSM に直接接続する代わりに、オンプレミスで製品とライセンスを管理できます。</p> <p>互換性のある SSM オンプレミスと製品インスタンスバージョンについては、<a href="#">SSM オンプレミス</a>を参照してください。</p> <p>このトポロジの概要についてと実装方法については、<a href="#">SSM オンプレミス展開とトポロジのワークフロー：SSM オンプレミス展開</a>を参照してください。</p> <p>既存のバージョンの SSM オンプレミスから、Smart Licensing Using Policy への移行をサポートするバージョンへの移行については、<a href="#">Smart Licensing Using Policy をサポートする SSM オンプレミスのバージョンへの移行</a>を参照してください。</p>

機能名	リリース	機能情報
<p>ポリシーを使用したスマートライセンス</p>	<p>Cisco IOS XE Bengaluru 17.4.1</p>	<p>このリリース以降、ポリシーを使用したスマートライセンスは次のプラットフォームでサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Catalyst 8000V エッジソフトウェア</li> <li>• Catalyst 8200 シリーズ エッジプラットフォーム</li> <li>• Cisco 1100 ターミナル サービス ゲートウェイ</li> <li>• シスコクラウドサービスルータ 1000v (このプラットフォームで、ポリシーを使用したスマートライセンスをサポートするには、CSRv.bin イメージから Catalyst 8000V ソフトウェアイメージにアップグレードする必要があります)。</li> <li>• シスコサービス統合型仮想ルータ (このプラットフォームで、ポリシーを使用したスマートライセンスをサポートするには、ISRv.bin イメージから Catalyst 8000V ソフトウェアイメージにアップグレードする必要があります)。</li> </ul> <p>この機能をサポートする製品の完全なリストについては、<a href="#">サポート対象製品</a>を参照してください。</p>

機能名	リリース	機能情報
<p>ポリシーを使用したスマートライセンスのライセンス管理 (Cisco vManage を使用)</p>	<p>Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1a</p>	<p>Cisco SD-WAN は Cisco CSSM と連携して動作し、Cisco SD-WANで動作するデバイスに対して Cisco vManage によるライセンス管理を提供します。これを実現するためには、Cisco vManage が CSSM に接続されているトポロジを実装する必要があります。</p> <p>互換性のあるコントローラと製品インスタンスのバージョンについては、「<a href="#">コントローラのサポート情報：Cisco vManage</a>」を参照してください。</p> <p>このトポロジの詳細については、このマニュアルの<a href="#">コントローラを介して CSSM に接続およびトポロジのワークフロー：コントローラを介して CSSM に接続</a>を参照してください。</p> <p>Cisco vManage の詳細については、Cisco SD-WAN スタートアップガイド [英語] の「<a href="#">License Management for Smart Licensing Using Policy</a>」セクションを参照してください。</p>
<p>PAK ライセンスのスナップショット</p>	<p>Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2</p>	<p>PAK ライセンスを管理するライブラリは、ソフトウェアイメージから削除されています。ユーザーの既存の PAK ライセンスを引き続きサポートおよび受け入れるために、PAK ライセンスのスナップショットが自動的に作成され、Device-Led Conversion プロセスがトリガーされ、PAK ライセンスがスマートライセンスに変換されます。</p> <p><a href="#">PAK ライセンスのスナップショット</a>を参照してください。</p>

機能名	リリース	機能情報
工場でインストールされた信頼コード	Cisco IOS XE Cupertino 17.7.1a	<p>新しいハードウェアの注文では、信頼コードは製造時にインストールされるようになりました。</p> <p>出荷時にインストールされた信頼コードを使用して CSSM と通信することはできません。  <a href="#">概要</a>および<a href="#">信頼コード</a>を参照してください。</p>
追加のトポロジでの信頼コードのサポート		<p>信頼コードは、製品インスタンスが <i>CSLU</i> へのデータ送信を開始するトポロジと、製品インスタンスがエアギャップネットワーク内にあるトポロジで自動的に取得されます。</p> <p>次を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">信頼コード</a></li> <li>• <a href="#">CSLU を介して CSSM に接続、製品インスタンス開始型通信の場合のタスク</a></li> <li>• <a href="#">CSLU は CSSM から切断、製品インスタンス開始型通信の場合のタスク</a></li> <li>• <a href="#">CSSM への接続なし、CSLU なし、トポロジのワークフロー：CSSM への接続なし、CSLU なし</a></li> </ul>
認証コード要求を保存してファイルに戻し、CSSM Web UI で簡単にアップロードする機能		

機能名	リリース	機能情報
		<p>製品インスタンスがエアギャップネットワークにある場合、SLAC 要求を製品インスタンスのファイルに保存できます。SLAC 要求ファイルを CSSM Web UI にアップロードする必要があります。その後、SLAC コードを含むファイルをダウンロードし、製品インスタンスにインストールできます。返品要求ファイルも同様の方法でアップロードできます。</p> <p>この新しい方法では、SLAC を生成するために CSSM Web UI で必要な詳細情報を収集して入力する必要はありません。また、認証コードを返却するために CSSM Web UI で製品インスタンスを検索する必要はありません。</p> <p>CSSM Web UI では、要求または返信ファイルは、RUM レポートをアップロードするのと同じ場所に同じ方法でアップロードされます。</p> <p><a href="#">製品インスタンスでの SLAC 要求の生成と保存、承認コードの削除と返却、および CSSM へのデータまたは要求のアップロードとファイルのダウンロード</a>を参照してください。</p>
RUM レポートでソフトウェアバージョンを収集するためのサポート		<p>バージョンプライバシーが無効になっている場合 (<b>no license smart privacy version</b> グローバルコンフィギュレーションコマンド)、製品インスタンスで実行されている Cisco IOS-XE ソフトウェアバージョンと Smart Agent バージョン情報が RUM レポートに含まれます。</p> <p><a href="#">「license smart (グローバルコンフィギュレーション)」</a>を参照してください。</p>
RUM レポートの最適化と統計情報の可用性		<p>RUM レポートの生成と関連プロセスが最適化されました。これには、RUM レポートの処理にかかる時間の短縮、メモリとディスク領域の使用率の向上、および製品インスタンス上の RUM レポートの可視性 (エラーがある場合、エラーの数、各プロセスの処理状態など) が含まれます。</p> <p><a href="#">show license rum</a>、<a href="#">show license tech</a>、および <a href="#">show license all</a>を参照してください。</p>

機能名	リリース	機能情報
<p><b>show</b> コマンドの出力に含まれるアカウント情報</p>		<p>RUM 確認応答 (ACK) には、CSSM で報告されたスマートアカウントとバーチャルアカウントが含まれます。アカウント情報は、さまざまな <b>show</b> コマンドの出力に表示され、常に製品インスタンスで使用可能な最新の ACK に従います。</p> <p><a href="#">show license summary</a>、<a href="#">show license status</a>、<a href="#">show license all</a>、および <a href="#">show license tech</a> を参照してください。</p>
<p>Linux の CSLU サポート</p>		<p>Linux を実行するマシン (ラップトップまたはデスクトップ) での CSLU 導入のサポート。CSLU は、次の形式の Linux と互換性があります。</p> <p>「<a href="#">CSLU</a>」を参照してください。</p>

機能名	リリース	機能情報
Smart Licensing Using Policy によるマネージド サービス ライセンス契約 (MSLA) のサポート。	Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1a	<p>自律モードで実行されている Catalyst 8000V エッジソフトウェアの場合、必要なライセンスの前払いではなく、ライセンスの実際の使用量に対して支払うライセンスの後払いモデルを実装できます。</p> <p><a href="#">MSLA</a>および<a href="#">ユーティリティモード</a>を参照してください。</p>
データプライバシー関連情報を送信する新しいメカニズム		<p>すべてのデータプライバシー関連情報を送信する新しいメカニズムが導入されました。この情報は RUM レポートに含まれなくなりました。データプライバシーが無効になっている場合 (<b>no license smart privacy {all   hostname   version}</b>) グローバル コンフィギュレーション コマンド)、データプライバシー関連情報は、別の同期メッセージまたはオフラインファイルで送信されます。</p> <p>実装したトポロジに応じて、製品インスタンスが別のメッセージでこの情報の送信を開始するか、CSLU および SSM オンプレミスが製品インスタンスからのこの情報の取得を開始するか、または <b>license smart save usage</b> 特権 EXEC コマンドを入力すると生成されるオフラインファイルにこの情報が保存されます。</p> <p><a href="#">license smart (グローバル コンフィギュレーション)</a> を参照してください。</p>
ホスト名のサポート		<p>製品インスタンスでホスト名を設定し、対応するプライバシー設定を無効にすると (<b>no license smart privacy hostname</b> グローバル コンフィギュレーション コマンド)、ホスト名情報が製品インスタンスから送信されます。</p> <p>実装したトポロジに応じて、ホスト名情報は CSSM、および CSLU または SSM オンプレミスによって受信されます。その後、対応するユーザーインターフェイスに表示されます。</p> <p><a href="#">license smart (グローバル コンフィギュレーション)</a> を参照してください。</p>
追加のトポロジでの信頼コードのサポート		



機能名	リリース	機能情報
		<p>CSLU が製品インスタンスからのデータの取得を開始するトポロジでは、信頼コードが自動的に取得されます。</p> <p>信頼コード、CSLU を介して CSSM に接続、CSLU は CSSM から切断を参照してください。</p>
VRF のサポート		<p>VRF がサポートされている製品インスタンスでは、すべてのライセンスデータを CSSM、CSLU、または SSM オンプレミスに送信するように VRF を設定できます。</p> <p>VRF を設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで <b>license smart vrf vrf_string</b> コマンドを入力します。</p> <p>license smart (グローバル コンフィギュレーション) を参照してください。</p>
RUM レポートスロットリング		

機能名	リリース	機能情報
		<p>製品インスタンスが通信を開始するすべてのトポロジで、レポートの最小頻度は1日に制限されます。これは、製品インスタンスが1日に複数の RUM レポートを送信しないことを意味します。</p> <p>影響を受けるトポロジは、CSSMに直接接続、CSLUを介してCSSMに接続（製品インスタンス開始型通信）、CSSMから切断されたCSLU（製品インスタンス開始型通信）およびSSM オンプレミス展開（製品インスタンス開始型通信）です。</p> <p>特権 EXEC モードで <b>license smart sync</b> コマンドを入力すると、レポート頻度のスロットリングを無効にできます。これにより CSSM または CSLU、あるいは SSM オンプレミスとのオンデマンドの同期がトリガーされ、保留中のデータが送受信されます。</p> <p>RUM レポートスロットリングは、17.3.x トレインの Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.6 以降のリリース、および 17.6.x トレインの Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.4 以降のリリースにも適用されます。Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 以降、RUM レポートスロットリングは後続のすべてのリリースに適用されます。</p> <p>CSSM に直接接続、CSLU を介して CSSM に接続、CSLU は CSSM から切断、SSM オンプレミス展開を参照。</p>
Smart Licensing Using Policy のパーマネントライセンス予約 (PLR)	Cisco IOS XE Dublin 17.10.1a	<p>PLR を使用すると、製品インスタンスで任意のライセンスを無制限に使用できます。PLR は、製品インスタンスがネットワークの外部とオンラインで通信できない高セキュリティ展開または完全なエアギャップネットワークに適しています。</p> <p>を参照してください。 <a href="#">Smart Licensing Using Policy 環境のパーマネントライセンス予約</a></p>

機能名	リリース	機能情報
PAK ライセンスのスナップショット	Cisco IOS XE Dublin 17.11.1a	<p>PAK 管理ライブラリは廃止され、スナップショットを取得するためのプロビジョニングは利用できなくなりました。</p> <p>Cisco IOS XE Dublin 17.11.1a以降のソフトウェアイメージは、PAK ライセンスに関するスナップショット情報のみに依存しています。</p> <p>スナップショットのないPAK ライセンスがあり、Cisco IOS XE Dublin 17.11.1a以降のリリースにアップグレードする場合は、2回アップグレードする必要があります。まず、PAK ライセンスのスナップショットと完全なDLCが作成されるリリースのいずれかにアップグレードしてから、必要な後続のリリースに再度アップグレードします。</p> <p><a href="#">PAK ライセンスのスナップショット</a>を参照してください。</p>

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<https://cfmng.cisco.com/>にアクセスします。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。